

## ◎ 美術館情報

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの美術館等で、臨時休館やイベントの休止、展覧会の中止や開催期間の変更、および入館方法等が変更になっています。

状況が日々変動しているため、各施設の公式ホームページなどで最新の情報をご確認ください。

### 1. 菊池寛美記念 智美術館【東京・港区】 (<https://www.musee-tomo.or.jp/exhibition/schedule.html>)



1月3日(火)～3月19日(日)

企画展:現代のやさしもの 思考するかたち 菊池コレクション展

本展では当館創立者 菊池智(1923～2016)のコレクションのなかから、器らしい形に魅力を見出した作品、器の形や制作過程を踏襲しながらもその範疇に収まりきらない作品、さらに土を用いた自由な創作としての抽象的な作品を一堂にご覧いただくことで、現代陶芸の形の豊かさ、その根源にある作家の創意に迫ります。これら造形に対する考察や素材との向き合い方、それに見合う技法の選択や会得といった、創造性を核とした要素から生まれた現代陶芸のかたちをご覧ください。

### 2. とうしん美濃陶芸美術館【岐阜・多治見】

(<https://www.shinkin.co.jp/tono/news/pdf/20221124mino.pdf>)

1月6日(金)～4月2日(日)

企画展:とうしんコレクションⅣー所蔵品でみる美濃陶芸の世界ー

「とうしんコレクションⅣ」を開催いたします。東濃信用金庫が昭和61年度から行っている美濃陶芸作品永年保存事業で購入した作品をはじめ、今年度、新しくコレクションに加わった作品を中心に展示いたします。所蔵品でみる美濃陶芸の世界をぜひお楽しみください。



### 3. 愛知県陶磁美術館【愛知・瀬戸】

([https://www.pref.aichi.jp/touji/exhibition/2022/t\\_artsandcrafts/index.html](https://www.pref.aichi.jp/touji/exhibition/2022/t_artsandcrafts/index.html))

1月28日(土)～3月26日(日)

特別展:アーツ・アンド・クラフツとデザイン

ーウィリアム・モリスからフランク・ロイド・ライトまで

アーツ・アンド・クラフツは、19世紀後半のイギリスで興おこったデザイン運動です。産業革命後の工業化の波の中、思想家ジョン・ラスキンは「機械が人間の労働から創造性を奪う」と批判し、中世の創造と労働が一体となった社会であるべきと唱えました。ラスキンの思想に傾倒したウィリアム・モリス(1834-1896)は、仲間たちと共に手仕事を通して「すべての人々の生活に美しいデザイン」を提供しようとしてきました。モリスらの仕事に影響を受けた多くのデザイナーや建築家たちは、アーツ・アンド・クラフツ運動を発展させ、やがてその影響はヨーロッパを始め世界各地へと及びます。アメリカでは、建築家フランク・ロイド・ライトが機械生産を受容し、運動の新たな方向を提起しました。本展では、各地の歴史や文化、社会情勢を反映しながら展開を見せたアーツ・アンド・クラフツ運動の広がりや多様性を、イギリスとアメリカのテキスタイルや壁紙、家具、タイル、ガラス、アクセサリなど約150点を通じて紹介します。

